



JUSTICE

ジェイアール・イーストユニオン
発行者 菅野 一位
編集者 教 宣 部
〒105-0021
東京都港区東新橋 2-8-28
TEL(JR) 057-7333
TEL(NTT) 03-6452-9687
ホームページ検索
「JREユニオン」

基本理念

1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
2. 心とところをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

自らを変える!! 明日を創る!! イーストイノベーション

JR連合結成30年を迎えて!

新たな時代における鉄道の発展と JR産業の持続的成長にむけて

本年5月18日、JR連合は結成から30年を迎えました。

1992年5月18日、国鉄時代からの離合集散、労使の対立や職場の荒廃などの不幸な歴史に終止符を打ち、真にJR労働者を代表し、社会的信頼と組合員の負託に応えられる産業別労働組合「JR連合」が結成されました。

自由にして民主的な労働運動の継承

結成大会アピールでは、「自由にして、民主的な労働運動の継承と、その拡大・発展に全力をつくす」とともに、時代を先取りした創造的な政策推進を通じ、JR各社における経営の安定と発展をはかり、組合員の雇用確保、労働条件の維持・向上のため、「力とミツク」にもとづくダイナミックな運動を展開し

ていくことを改めて表明する」と力強く謳われています。

国鉄改革では7万6千名が鉄道を去る雇用不安の悲劇を経験しました。そして、経営自主性を確保し鉄道を再生する改革の趣旨に基づき、JR各社の労使の努力によってJRグループは成長、発展を遂げ、社会を支える基幹産業としての役割を果たし、組合員と家族の雇用を守り地位を向上させていくことができました。

また、10単組7万6千名で結成した組織は、現在、98単組8万6千名となり、名実ともにJR産業を代表する責任産別となりました。

鉄道開業150周年

JR発足から本年4月で35年が経過しました。また、今年は1872(明治5)年10月

14日、新橋〜横浜(現桜木町)間で鉄道が開業して150年の節目の年です。

この間、少子高齢化と人口減少、大都市一極集中と地方の衰退、道路網の整備の進展、第4次産業革命とも評される技術革新など、私たちが取り巻く環境は劇的に変化し、更にコロナ禍により変化が加速していきます。

また、JR各社間の経営体力の格差や、新幹線や大都市圏輸送などの鉄道特性を發揮し得る分野と發揮し得ない分野との格差が拡大しています。

国鉄改革に並ぶ大転換期

現在私たちが国鉄改革に並ぶ産業としての大転換期にあります。揺るぎなき安全を確立し、世界に誇るわが国の鉄

道をさらに発展させ、JR産業が持続的に成長していくためには、従来の延長線上でなく、社会変容に対応し、変化を先取りした改革が必要で

す。JRの民間活力を發揮しつつ、成長分野を磨くとともに、不変である公共的な役割を果たしていかなければなりません。そのために、官民のパートナーシップの強化をはじめ、鉄道政策の大きな転換も求められていますといえます。

また、JR連合はJR産業の代表産別であるとはいえず、組織の拡大は道半ばであります。JR産業に働く仲間の総結集へ邁進するとともに、すべてのJR会社との信頼関係を確立し、JR労使が一致協力して、安全を基盤にJR産業の持続的な成長にむけて歩みを進めなければなりません。そして、働く仲間の安定雇用を確

保し、社会的、経済的な地位を向上させ誇りと働きがいの持てる魅力ある職場を築いていかなければなりません。

会社施策に対し
真摯に取り組み

JR東日本は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により二期連続の大幅な赤字決算となりました。この間、私たちは感染拡大防止をはじめ、安全・安定輸送、経費削減や会社施策へ真摯に取り組みました。

ワクチン接種や感染拡大防止が進み、ご利用されるお客さまは戻りつつありますが、社会生活の変化によりコロナ以前には戻らないと言われています。

こうした状況の中、JR連合結成30年と、鉄道開業150年の節目にあたり、あらためて苦難を乗り越えてきた輝かしい歴史を再認識するとともに、JR東日本内でのJR連合運動の推移と現状、JREユニオンのメッセージを数回にわたり発信してまいります。

(次号へ)